

「農業用織物シート」使用事例

スマート農業の最前線で 防草シートが果たす役割とは？

兵庫県洲本市を拠点に、最新のIT通信設備を備えた「スマートビレッジ」を運営される株式会社農社さま。10,000㎡の広大な農場に囲まれ、農業普及指導員の資格や博士（農学）号を持つ専門スタッフによる大学や研究機関、メーカーとの専門的かつ実務的な共同研究に加え、高度なコンサルティングを通じて農業の新たな価値を創造し続ける、アグリテクノロジーのフロントランナーです。

現在、小泉製麻は同社と連携し、資材の実証試験や新たな用途開発を進めています。

圃場管理の一環として、当社の定番製品である各種農業用防草シートをご活用いただいております。実際の使用感や現場での気づきについてお話を伺いました。

現場の負担を軽減し、本来の業務に集中するために

防草シートを導入された最大の目的は何でしょうか。

一番の目的は、やはり草刈り負担の低減です。当農場は山間部に^{けいはん}あるため、田畑の畦畔が多く、管理に多大な労力を要します。農場運営に加え、日々さまざまな試験研究を並行しているため、常に人手が不足気味であるという課題もありました。

この圃場で事業を開始して2年ほどになりますが、1年前に一度草刈りをしてからシートを敷設しました。それ以前は、作業中にマムシに遭遇するなど危険も伴う大変な作業でしたが、昨夏はシートのおかげで草を抑え込むことができ、草刈り作業自体が不要になりました。非常に楽になりましたね。

敷地は10,000㎡と広大ですが、やはり畑に集中したい。今後も追加での設置を検討していきたいと考えています。



「スマート農業」と「シート」の使い分け



自社品・他社品問わず、さまざまな種類のシートを設置されていますね。

当農園には、スマート農業の視察に来られる方が大勢いらっしゃいます。皆さん共通して「畦畔管理」には頭を悩ませておられますね。

視察ではラジコン草刈機などもご紹介しますが、傾斜によって対応できないケースもあります。そこで、機械と防草シートの「使い分け」を提案できるよう、あえて多様な種類を敷設し、比較検討の参考にしてもらおうと考えました。

植生が場所によって異なるため一概には言えませんが、小泉製麻のシートは今のところ突き抜けが少なく、安心感があります。

ありがとうございます。本日拝見したところ、弊社シートの一部でチガヤが顔を出している箇所がありましたね。

近隣の農家さんからも「チガヤは織物の防草シートでは防げないよ」と言われましたね。

おっしゃる通り、先端が針のように鋭いチガヤは、織物の隙間を抜けてしまうため、織物シートが不得手とするところですね。

「ルンルンシート黒×黒」や「Questシート」は黒色で遮光性が高いため、シート下での生育を一定数抑え込めているのかもしれませんが。

また、反射タイプの「ルンルンシート白ピカ」も導入いただいていますね。

はい。その付近にはトマトを植える予定ですよ。

「ルンルンシート白ピカ」による太陽光の拡散反射効果は、作物の生育に良い影響を与えるはずですので、ぜひ収穫の結果も楽しみにしてください。

施工性の評価と、畦畔ならではの課題

実際に敷設作業をされてみて、いかがでしたか？

1つの畦畔に対して、1人で2ロールを3時間ほどで敷設しました。上部をピンで留めてから下を固定する、という作業の繰り返しですが、金属ピンがスッと通るので、打ち込み作業は楽に感じました。シートの厚みがちょうど良いのでしょうか。

ただ、淡路島は風が強く、設置中シートが巻き上げられたりして大変なこともありましたね。

敷設後もピン同士の隙間から風に煽られることもあるのでしっかりと打ち込むことが必要ですね。



スマート農業と資材の合わせ技で、更に進化する畦畔管理へ



スマート農業での防草シートの活躍、大変嬉しく思います。畦畔管理には、センチピードグラスを活着させる「べた〜とシート」もご提案しています。

防草しつつセンチピードグラスを被覆させるもので、根を活着させることで畦畔の崩壊を防ぐ効果や、被覆により防草シートが劣化しにくいといった特長があります。

畦畔の維持管理は多くの農家が抱える課題ですので、そうした管理手法にも非常に興味があります。こちらは別途打ち合わせしましょう。

はい。現場の省力化に役立てていただけるよう、引き続き提案させていただきます。

一 使用商品 | 小泉製麻の織物防草シートラインナップ



- 『Questシート』
規格の厳選と生産効率の見直しにより低コストを実現した防草シート
- 『ルンルンシート 黒×黒・白×黒』
通気性の高い織で優れた防草効果があります
- 『ルンルンシート 白ピカ』
高い光反射率と遮熱効果を持つ織物防草シート
特許取得商品（特許番号 第6319853号）

商品紹介ページ



一 担当者コメント

スマート農業にも資材の力を

今回、防草シートが人手不足の軽減に繋がり、農社さまの「本来の作業に集中できる環境」を支えているとのことをお話を拝聴し、自社製品が役に立っていることを改めて実感しました。

現代農業において、農社さまが推進される「スマート農業による省力化」は避けて通れない道です。防草シートは従来からある資材ですが、新旧の技術を適材適所で組み合わせることで、さらなる貢献ができると確信しました。

スマート農業による省力化に小泉製麻も寄与出来るような商品開発を行っていきます。

